

第1回デザインアワードの報道

金市工生デザイン公衆トイレ

金沢の公園で採用へ

金沢建設業協会が、金沢市立工業高校の建築科3年生を対象に実施した公衆トイレのコンクールデザインアワードの受賞者が決まった。カラフルなガラスの外観に、車いす利用者にも配慮した寺井里緒さんのデザインが最優秀賞に、金沢市は本年度北地区で整備する公園の公衆トイレのモデルとして採用する方針を決めた。(前ページ参照)

建設業協会がコンテスト



寺井さんが描いた公衆トイレの完成イメージ図(金沢市提供)

十七日に同校で表彰式があり、最優秀賞の寺井さんをはじめ、入賞者が発表された。モノづくりの楽しさを伝えることが目的で、市と連携し、初めて企画。コンクール形式とし、生徒約四百人が応募した。生徒たちは夏休み明けにオリシナルの平面図や立面図を提出。審査員の協会や市の担当者、フレシテーションし、アピールした。寺井さんが描いたデザインは、すりガラス

カラフルな窓 最優秀 寺井さん作



受賞した寺井さん、右から寺井さん、坂林さん、松本さん、石世樹さん(金沢市)

の窓が特徴で、視界を確保しながら、気配を遮り、プライバシーの確保を図ることができる。床材のモザイクは、カラフルな色合いで、自分たちが作ったトイレが建った時は、公園の入口を広く、扉の両側にも利用してみたい。取っ手を大きくして、使いたい。受賞を記念して、何かの記念品を贈りたい。寺井さん、松本さん、石世樹さん、高世樹さん。表彰式で、協会の平

最優秀賞に寺井里緒さん

金沢建設業協会デザインアワード

金沢市立工高生徒対象に

金沢建設業協会(平櫻保会長)は17日、金沢市立工業高校建築科3年生の生徒を対象に実施した第1回デザインアワードの受賞者の発表と表彰式を金沢市の同校で開催した。

同協会では、市立工業高校の生徒の卒業課題への取り組みをサポートする事業を行っている。デザインアワードは同協会青年委員会情報発信セクションのメンバーが主体となり、ものづくりの楽しさや大切さを感じてもらうとともに、自分が設計した作品への思い、考え方を第三者に伝える機会を提供しようと、全員参加の設計コンペとして初めて企画したもの。

デザインの対象は公衆トイレで、周辺住民の憩いの場として利用される公園に設置されるもので、高齢者や乳幼児を連れた家族、車いす利用者等が安全に安心して利用できるものであることがコンセプト。9月10日に生徒に作品を提出してもらい、9月26日のプレゼンテーションを経て審査を行う。その結果、最優秀賞には寺井里緒さんの



デザインアワードで受賞した生徒たち=17日

作品が選ばれた。表彰式では平櫻会長が「非常に素晴らしい作品ばかりで用いているのに苦労した。これを機会に計画する力、施工する力を身に付けて、立派な社会人になってほしい」とあいさつ。続いて、平櫻会長から受賞者4名に賞状などが手渡された。これに対して各受賞者が「とてもうれしい。この経験を生かして今後も頑張りたい」とあいさつした。最後に来賓の牧野清一(金沢市)市長が「最優秀賞の作品については、その設計意図を参考に実施設計を行う」と述べた。

受賞者は次の皆さん。▽最優秀賞 寺井里緒▽優秀賞 坂林優樹▽佳作 松本美優▽特別賞 石高世樹